

朗読劇（表現活動）を終えて Part. I

朗読劇（表現活動）の取り組みは、6月3日（金）に班ごとに絵本を選ぶことから始めました。はじめは、「どうしていいのかわからない」「何を表現していいのか...」と、困る姿が見られましたが、〈自分たちはこの絵本で何を伝えたいのか〉を考える始めると、役割分担を決め、小道具づくりがどんどん進んでいきました。2週間という短い時間の中で、放課後やお昼休みも使い、準備や練習をしていました。本番までには、班で意見が割れてしまうことや、準備や練習がなかなか進まず、モヤモヤする班もあったと思います。ですが、この本番までの過程で、今までは、あまり話さなかった人と話したり、クラスメイトの新しい一面が知れたり、とぐつと仲が深まったのではないのでしょうか。

そして、6月17日（金）3・4限に発表本番をおこなえました。はじめに、学年全員で先生たちの朗読劇の発表を鑑賞したあと、クラスごとに分かれ、すべての班の発表を行いました。どの班の発表もとても工夫されていて、みんな真剣に鑑賞することができました。また、発表後は〈どんなところが良かったか〉を書く「いいところカード」や、感想文を書きました。



〈みなさんの感想文より〉

*班の人たちと放課後残って、道具を作ったり、演技を通して練習したりして良かった。道具は、できるだけ見る人が分かりやすいように作るのをがんばった。話す練習のときも、リズム良く進められるように何回も読んで、つまりははっきり大きな声で読めるように協力してがんばった。場面のきりかえは、覚えて道具や動かさないといけなかったのが、すばやく移動して場面をきりかえるのが難しかった。



*最初はしっかり朗読劇できるか正直不安やったし、心配やったけど、劇で使う道具とかをみんなで作っていくうちに、朗読劇が楽しみになっていったし、道具をつくるのとかも楽しかった。朗読劇本番はきんちょうしてみんなに伝えたいことがうまく伝えられなかったかもしれないけど、楽しかったから良かった。

*私は表現活動をやってしっかり表現ができたと思います。本番までは班で昼休みと放課後を使って練習したり、道具をつくったりしました。練習はセリフや道具を動かしたりして練習しました。道具作りは画用紙やダンボールや絵の具を使って色をぬったり、画用紙を切ったりして、いろいろ工夫しながら道具作りをしました。本番ではしっかりみんなに伝わったと思うし、リハーサルのときよりかはしっかりとできたと思います。



*自分の班の発表を終えて感じたことは、私たちの班は紙しばい的な感じの発表だったので、絵に力を入れました。他の班に比べれば、あまりすごくなかったとしても、5班のみんなは放課後残ってがんばったので、達成感はとてもあります。美術室で虹を書くのがとても楽しかったです。葉っぱが出る場面や海の所は、画用紙をはったり、切ったり、くっつけたりして、難しい所もあったけど、みんなで協力してがんばりました。男の子を書くのががんばったし、色をぬったりするのも力を入れました。2週間という短い時間だったけど、他の班も自分の班もすごく良い表現活動ができたんじゃないかなと思います。

*なかなかみんな習い事とかで練習する時間もないなか、けっこう物も準備できたり、残れる日は残ったりして物も作れました。自分はあまり上手に演技をすることはできなかったけど、みんなは上手で自分も「もっと練習しないと〜」ってめちゃくちゃ思いました。演技をするのがトップバッターでめちゃくちゃ緊張してほんとうに「やばかった」（うまくできなくて・・・）やっぱり一番だと本当に手がふるえました。「本当に頑張ったな〜」と思いました。

*みんなと力あわせて物をつくったり、練習したりすることが楽しかったです。人前に出るとは、めっちゃ苦手やけど、みんなが「がんばれ」などを言うてくれてできたり、物づくり以外のところでも協力できたかなと思いました。私はナレーションをしたんですが、強弱をつけたり、あまりセリフなかったのが、私がかんばらないとだめだなと思い、がんばりました。自分を表現したりすることは苦手だけど、いい経験になったなと思いました。

*初めはどう表現するか分からなくて班でいろんな事を考えてみんなで絵を書いたり、紙しばいみたいな感じだったけど、みんなでセリフのスピードを考えて最後は自分は声を大きくすること、ハキハキしゃべることを意識して絵をもう少し見やすくしとけばよかったなあとと思ったけど、班のみんなが協力できた表現活動だったので、中学で初めてだったので、きんちょうしたけど、最後できてよかったと思います。

